

＜ もくじ ＞	
1. 2023年度総会・第22回大会開催のお知らせ（再掲）	1
2. 研究会からのお知らせ	2
3. 研究会からの概要報告	2
4. 事務局からのお知らせとお願い	5

1. 2023年度総会・大会開催のお知らせ（再掲）

（1）2023年度定例総会（議決権行使依頼）

2023年度総会は、6月25日に開催いたします。会員の皆様には、事前の書面決議でお願いすることになっておりますが、すでにご回答いただいている方を含めて会場に来られる会員の方には会場で総会にご参加いただくこととなりました。変更になりますことお詫び申し上げます。

総会の成立には会員の過半数の参加（委任状等含む）が必須です。会場に参加されない会員でまだ委任状が議決権行使をされていない方は、早急に必ず行使いただくようお願いいたします。

（2）2023年度第22回大会

昨年度から当学会では、2021年度の長期計画検討委委員会の議論を踏まえて、従来の超高齢化、人口減少に加えて、新自由主義と働き方改革（非正規労働の拡大）、ICT・AI技術の発達、そしてコロナ禍など、時代の大きな変化を背景に、格差や差別の問題についての現状を再確認し、今後の当学会の課題を見直すことを3年間の大会の共通テーマとして掲げることになりました。そして、昨年度は「現代日本における年齢格差～若者世代と高齢者世代の協調・連帯を求めて～」としました。今年度は、ジェンダーの平等を扱い、「誰ひとり取り残さない社会」の実現をめざすための課題を検討したいという構想です。

ジェンダーギャップ指数やジェンダー平等指数が明らかにしているように、日本における女性の地位は世界でもっとも低いところに位置づけられています。健康や教育の面ではトップレベルにあるにもかかわらず、労働や政治の場において指導的な地位を占める女性がきわめて少ないことがその主たる要因と考えられています。さらに、行政や市民によってジェンダー平等を実現するための指針が示されていますが、日常生活や意識の面では、まだまだ男性優位の家父長制的思考が根深く残っています。このシンポジウムでは、ジェンダー平等の実現を阻む要因を明らかにするだけでなく、それを取り除くには今、何が必要なのか、とりわけ老若男女共同参画社会の実現をめざすシニア社会学会として何ができるのかを考えたい。

1) 日 時：2023年6月25日（日） 14：00～17：00

2) 開催方法：会場開催（オンライン併用）

3) 開催場所：日本労働者協同組合連合会会議室 池袋IPSビル8階

4) 大会テーマ：「ジェンダー平等の日本を創ろう！」

I. 基調講演：★講師：萩原なつ子（国立女性教育会館理事長）

「もはや昭和ではない」時代の誰一人取り残さない男女共同参画社会（タイトルに変更あり）

II. シンポジウム

・司会：袖井孝子（当学会会長）

・パネリスト：

- ★小平陽一（当学会運営委員）：男性の視点でとらえた暮らしの中のジェンダー
- ★松島悦子（当学会理事）：地域に残存する男尊女卑
- ★木村民子（元文京区議会議員）：議会の鉄壁を崩そう！

コメント

- ★萩原なつ子（国立女性教育会館理事長）

5) 参加費：1,000円（Peatix、振り込み）

参加費の払い込みは、原則として事前に Peatix から払い込んでいただくようお願いいたします。

それが難しい場合には、メールでお申し込みの上、銀行振り込みをお願いいたします。

なお、会場参加ご希望の方には当日会場でのお支払いも受け付けております。詳しくは、添付の大会プログラムをご参照ください。

2. 研究会からのお知らせ

(1) 第88回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2023年6月26日（月） 15:00～18:00
 - 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室
 - 3) テーマ：濱口座長のレクチャー — 戦争をしない国日本というイメージ戦略 —
再びどうして「戦争はイヤだ」と言わなかったのと言われなかったために —
 - 4) 参加費：300円
- ※ お問い合わせは、島村（ken-sima1941@jcom.home.ne.jp）までお願い致します。

(2) 第43回「社会情報」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2023年7月19日（水） 10:00～12:00
 - 2) 場 所：あざみ野団地集会所
 - 3) 概 要：俱進会助成事業 協力者向け報告会
- ※ なお、会場の都合で関係者以外の参加は受け付けておりません。
ご質問等は、森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

(3) 第35回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2023年7月22日（土） 18:30～20:30
- 2) 場 所：品川区東大井 5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及びその他 YNS やまぶき任意後見サポート会
- 4) テーマ：認知症とともに生きる

びしょうざ

劇団 「B笑座」第22回。 「認知症とともに生きる」です。

認知症らしさを体験することで新たな発見が生まれます。Zoomの参加もできます。

※ お問い合わせは、鈴木 眞澄（mme_masumi@yahoo.co.jp）迄お願い致します。

(4) 第45回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2023年7月28日（金） 17:30～19:30
- 2) 場 所：Zoom 開催
- 3) テーマ：3年間のコロナ禍を経験して、ライフスタイル（価値観、人生観、行動など）どう変化したか？ ファシリテーター 若井泰樹さん

※ ご連絡ご質問は、中村昌子（nakamurayoshiko6@gmail.com）までお願いします。
どなたでも参加できます。ご連絡お待ちしております。

3. 研究会からの概要報告

(1) 第151回「社会保障」研究会報告要旨

- 1) 日 時：2023年5月17日（水） 18:00～20:00
- 2) 報告者：五島朋幸（歯科医師・食支援研究者）

3) テーマ:「食べること、生きること～最期まで口から食べられる街づくり～」

4) 参加者: 13名

1997年に訪問歯科診療を始めたが、そのきっかけは在宅医療に従事する内科医を描いた「家に帰りたい」というテレビ番組を見たことだった。その医師が主宰する「高齢者の健康を考える会」に妻と参加。その後、誘われて在宅医療を見学し、入れ歯が合わないために、高齢者がミキサー食やチューブ食しか食べられないことに悔しい思いをして、訪問歯科に踏み切った。

口腔ケアや嚥下障害についてはまったく知らなかったので独学して、多職種と連携して食べるための機能訓練を始め、「家に帰りたい Part 2」には、自らが主人公に取り上げられた。口から食べることは、経管栄養よりも効果が高く、美味しさを感じることが満足感につながる。食べることには全身が関係しており、姿勢や食事環境も大切である。

2009年には、「最期まで口から食べる街、新宿」をめざして、新宿食支援研究会を立ち上げた。それまで食支援の定義はなかったため、独自に創り上げた。すなわち、①本人、家族に自らが食べたいという希望がある。もしくは身体的に栄養ケアの必要がある人に対して(対象)、②適切な栄養管理、経口摂取の維持、食を楽しんでもらうことを目的として(目的)、③リスクマネジメントの視点を持ち、適切な支援を行うこと(方法)である。

新宿食支援研究会には、23職種、160人、20歳代から80歳代までが所属しているが、新宿区民は数人しかいない。摂食・嚥下障害のある高齢者は16%いるので、新宿区には対象者が1万人以上いる。プロだけでは対応できないので、地域全体で取り組む必要がある。見つける(隣人)、つなぐ(ケアマネジャー)、結果を出す(管理栄養士)、広げる(社会教育)が欠かせない。言い換えれば、街づくりなのである。最近では、小学生を対象に食支援サポーター教育を実施し、大変に好評であった。

自分の歯で食べることはQOLの維持向上に役立つ。口から食べることの重要性と口腔ケアに気を付けることの必要性を痛感させられた。
(袖井孝子 記)

(2) 第41回「社会情報」研究会の報告

1) 日 時: 2023年5月17日(水) 15:00~17:00

2) 場 所: Zoom 開催

3) テーマ: 俱進会調査研究 最終報告書確認と意見交換、今後の方針について

① 報告書に向けて

俱進会提出予定の最終報告書を八巻さんから報告

会計報告と共に報告書提出(期限は2023年5月末日)

② 協力者向け報告会

あざみ野: 7月19日(水) 10:00~12:00

市川 : 10月2日(月) 10:00~11:30

③ 事業実施した感想

- 高齢者はスマホでマイナンバーカードの登録やマイナポイントの付与申請ができない。高齢者向けのアプリケーションインフラが必要なのではないか。

通信キャリアによる高齢者への利用支援策が不十分。(安田 育)

- キャリアの教室は少し使える人向け、今ある仕組みをどう生かしていくか。デジタル推進員をどう先につなげていくか。キャリアの教室と同じになってしまうのか。(富田)

- Zoom やLINE を使って教えあうなど、通信を活用して問題解決・負担軽減を行う。

キャリアの教室で不足の部分は、技術者がボランティアで説明するとかもあり。

色々な方法でサポートすることを、広く示していくことは我々であればできるのではないか。

情報ルート、関連支援事業など多様なネットワークとコネクションがある。(齋田)

- ナルク市川では、スマホを高齢者に普及させるため、高齢者のサポート事業を進めたい。ナルクとしては、デジタル支援や介護支援などといった分野をいくつか持つため、各種の企画実施のチャンスが多く得られている。

市川市の支援とナルクの講座を組み合わせる。(柴田)

- ・スマホを持っているがどうしよう、という方へコミュ助は大切。今後はナルク市川の取組やあざみ野クラブの取組など「支援団体」に聞き取りをしたい。(森嶋)
- ・新潟では高齢者のスマホ普及率が低いように思う。まだガラケーの世界にいるよう。近隣にある教室はタブレット教室など。

スマホを使わない理由は、必要性を感じない・変えるのが面倒 などと推測。要するに東京圏の状況よりかなり遅れているのだろうと感じている。(平井) (森 記)

(3) 第33回「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

- 1) 日 時：2023年5月20日(土) 18:30~20:30
- 2) 場 所：品川区東大井 5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及びその他 YNS やまぶき任意後見サポート会
- 4) テーマ：認知症とともに生きる

びしょうざ

劇団 「B笑座」第20回。 「認知症とともに生きる」です。

認知症らしさを体験することで新たな発見が生まれました。

(鈴木眞澄 記)

(4) 第87回「シニア社会のリテラシー」研究会開催の報告

- 1) 日 時：2023年5月25日(木) 15:00~18:00
- 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：意見交換くそのー4>—「多様なシニアの生き方が成熟社会を面白くする」
- 4) 発表者：安田 和紘

「シニアの生き方」をテーマにした意見交換は、2023年1月の第84回研究会から4回に亘って行われて来ましたが、今回の安田さんの発表と討議を持って、一つの結論を得ました。

安田さんは、タイトル「シニアの主張(案)~シニアは好きに生きる」と題するレポートに沿って発表された。レポートの狙いは、「シニアの幸せな生き方」に焦点を絞り込み、建前のあるべき論より、「本音」で語り合いたいこと。問題意識として、今日超高齢化社会であると共に、テクノロジーの急激な変化について学習が迫られ、取り残される恐怖があることなどを上げられた。その様な背景の中で、シニアは老後の計画の練り直しを迫られること。退職後のステージにおける人生再設計が必要であること。そして最終的には、当テーマを報告書の形でまとめたいこと。内容は「活力と創造性と楽しみのある人生」と「好きに生きる」について、自分ならどうするという事を綴ったレポートを、各会員から寄稿いただきたいと提案された。発表後、活発な意見交換が行われたが、最終的に参加者の賛同を得た。

そして、報告書作成に向けて、具体的な計画を立案し、作業を開始することに決定した。スケジュールとしては、7月末に原稿締め切り、完成は9月末を想定することとした。

濱口座長は、有機的連帯という社会的なつながり方について、「戦争をしない国」の条件は何かということ、いま考えていること。そしてシニア問題を考える2つの視点である、構造から考えるのと意識から考えることの違いを受け止める際、「老若定めなく、寿命こそ計り難し」というフレーズを唱えているとコメントされた。そして、次回研究会で当テーマに関し、レクチャーいただくことになった。

(島村健次郎 記)

(5) 第44回「ライフプロデュース」研究会の報告

- 1) 日 時：2023年6月6日(火) 17:30~19:30
- 2) ファシリテーター：中村昌子
- 3) タイトル：前半：研究会の今後の話し合い 後半：読書会 『私とは何か』『個人』から「分人」へ 平野啓一郎 講談社現代新書 2012年
- 4) 場 所：Zoom 開催

今回は、5/9(火)の開催に続いて、「研究会の今後や開催方法」等について、話し合いました。その結果、今後しばらくは、第4金曜日 17:30~19:30に開催することになりました。

【今後の予定】

- ・7/28 3年間のコロナ禍を経験して、ライフスタイル(価値観、人生観、行動面など)どう変わったか? 担当:若井泰樹さん
- ・8/25 医療費を節約できる、賢いお医者さんのかかり方 担当:清水春代さん
- ・9/22 戦時中、本当にあった人造石油プロジェクト 担当:柴本淑子さん
- ・10/27 読書会「DIE WITH ZERO」ビル・パーキンス(著)ダイヤモンド社 2020 担当:岡田慶子さん
- ・11/24 「認知症の予防」 担当:長谷川洋さん
- ・12/22 リアル忘年会 幹事:中村昌子

※ 尚、第43回、第44回の詳細は、[「ライフプロデュース」研究会ブログ\(jaas-lifeproduce.sblo.jp\)](http://jaas-lifeproduce.sblo.jp)をご覧ください。[第43回第44回「ライフプロデュース」研究会](#) (中村昌子 記)

(6) 第34回「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

- 1) 日 時:2023年6月17日(土) 18:30~20:30
- 2) 場 所:品川区東大井 5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者:鈴木 眞澄及びその他 YNS やまぶき任意後見サポート会
- 4) テーマ:認知症とともに生きる

びしょうざ

劇団 「B笑座」第21回。

「人形劇」も混ぜて、楽しく寸劇を行いました。Zoom参加者も増えました。今後に活かしたいと思います。(鈴木眞澄 記)

5. 事務局からのお知らせとお願い

<皆さんの指定送付先に「エイジレスフォーラム」21号送付しました>

2023年度発行の「エイジレスフォーラム」21号を6月10日にヤマトDM便で、会員の皆様宛て送付しました。合わせて「2023年度年会費納入のお願い」と「振込用紙」を同封しておりますのでお確かめください。2023年度年会費の納入期限は6月30日です。シニア社会学会は会員の皆様の年会費で運営しておりますので、納入期限までに納入くださいますようお願いいたします。

<会員情報変更時のご連絡のお願い>

事務所移転後は、各種ご連絡をeメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報(氏名・住所・メールアドレス等)に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あて連絡は、eメール: jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせください。

<2023年7月JAAS Newsの発行日>

次回JAAS News第287号の発行日は、2023年7月19日(水)です。原稿をお寄せ下さる方は、7月14日(金)までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

シニア社会学会 事務局一同

一般社団法人 シニア社会学会・事務局
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア1037
eメール: jaas@circus.ocn.ne.jp URL: <http://www.jaas.jp/>